

船舶事故調査報告書

令和4年9月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故種類 | 乗揚 |
| 発生日時 | 令和4年4月7日 03時30分ごろ |
| 発生場所 | 山口県柳井市柳井港東方の浅瀬 柳井港新東防波堤西灯台から真方位066°760m付近 (概位 北緯33°57.4′ 東経132°08.7′) |
| 事故の概要 | 砂利運搬船第一大成丸は、北北西進中、浅瀬に乗り揚げた。 |
| 事故調査の経過 | 令和4年4月18日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 砂利運搬船 第一大成丸、376トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 132740、株式会社大和商会 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、五級（航海） |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | プロペラに欠損及び曲損、船底外板に擦過傷 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 下げ潮の中央期（徳山） |
| 事故の経過 | <p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、砕砂約1,230tを積載し、山口県岩国港に向けて福岡県苅田町苅田港を出港し、船長が、単独の船橋当直につき、操船に当たっていた。</p> <p>船長は、02時30分ごろ眠気を感じたものの、広い海域で航行の支障となる船がいなかったため、しばらく変針点まで時間があり、気が緩んで舵輪前の椅子に腰を掛けていたところ、柳井港東方沖で進路を大島瀬戸に向けて東進する予定で同港南南東方沖を約9ノットの対地速力で北北西進中、03時15分ごろ居眠りに陥り、うとうとしながら、同港東方の浅瀬に乗り揚げ、船長が衝撃で目が覚めたと同時に船橋航海当直警報装置のアラームが鳴った。</p> <p>本船は、満潮時にタグボートにより浅瀬から引き出されて離礁し、ダイバーによる船底調査が行われて航行に支障がないことが確認され、海上保安庁の指示で柳井港に入港した。</p> <p>本船の喫水は、船首約3.8m、船尾約5.2mであった。</p> <p>船長は、休暇明けの6日夕方に苅田港から本船に乗船し、6日20時ごろ次直の航海士に交代後、7日00時30分ごろ入直した。</p> <p>船長は、起床後に腰の痛み止めの薬を痛みがある時に服用しており、本事故当時、入直前に同薬を服用していた。</p> <p>船長は、日頃、眠気を催した際にコーヒーを飲んだり、外気に当たったりしていたものの、本事故当時、寒かったので、本船の船橋内の窓や入口の扉を閉めて暖房を入れており、眠気を感じても扉を閉めた</p> |

| | |
|--------------|---|
| | <p>ままにしている、外気を入れていなかった。</p> <p>船長は、コーヒーを飲んでいたが、そのほか居眠りを防止する措置を採っておらず、いつしか居眠りに陥ったと本事故後に思った。</p> <p>本船に設置された船橋航海当直警報装置は、約12分間に設定されていた。</p> |
| 分析 | <p>本船は、柳井港南南東方沖を北北西進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥り、予定変針場所を通過し、同港東方の浅瀬に向かって航行を続けたことから、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、眠気を感じたものの、広い海域で航行の支障となる船がおらず、しばらく変針点まで時間があり、気が緩んで椅子に腰を掛けた同じ姿勢で船橋当直を続けたこと、入直前に痛み止めの薬を服用していたこと、及び本船の船橋内の窓や入口の扉を閉めて暖房を入れており、眠気を感じても扉を閉めたままにしている、外気を入れていなかったことから、居眠りに陥ったものと考えられる。</p> <p>本船に設置された船橋航海当直警報装置は、約12分間に設定されていたことから、船長が居眠りをしようとしながら本事故が発生するまでアラームが鳴らなかったものと考えられる。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、夜間、本船が柳井港南南東方沖を北北西進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥り、予定変針場所を通過し、柳井港東方の浅瀬に向かって航行を続けたため、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> |
| 再発防止策 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操船者は、眠気を感じた際には、外気に当たるなどの居眠りを防止するための措置を採ること。 ・ 操船者は、入直前に眠気を引き起こす医薬品の服用を極力避けること。 ・ 船橋航海当直警報装置は、設定時間をできるだけ短く設定すること。 |